

第一回 市民公開講座「胃ろうってなーに？」

～ アンケート結果の要約 ～

アンケート回収状況は参加者92名のうち、48名である。

参加者プロフィールをみると、

・男女比では1:

2。

10代～70代以上まで。30代、40代、50代が大きなピークを形成するが、70代以上9名である。

加となっている。地域別では多摩市(17名)が多いが、隣接周辺地域の参加(19)上回る。また、都内23区からの参加者も見られた。

は、医療関係並びに介護関係の両者がボリュームゾーンとなっているが、一般参加回っている(詳細は後述する問3の「参加理由」を参照)

・年齢は幅広く、上の参加者も
・広域からの参加名がそれを
・職業に関して加がそれを上

認知経路については、

・周知徹底するために多様な媒体ソースの利用が効を奏し、参加者が92名(関係者などを含めれば130,40名に)。

胃ろうネットワークメンバー、各病院及び多摩市広報でのPRが大きかった。それに加えて、一種の“口コミ”的な展開、関係者の話題性にもなるなど「その他(17名)」媒体での認知経路も大きかった。

この種の市民公開講座の参加状況

・はじめての参加が43名。市民公開講座として、また、テーマ条件が限られている割に参加者状況は高く評価できる。これも上述のPR(認知経路)への取組みの成果でもある。

参加した理由

・仕事の関係者20名に対して一般参加{個人的関心16名、身内家族に(患者)がいる8名}が24名である。また、仕事の関係者でもコメディカルと介護関係者の参加人数はニアであり、看・介護も視野に入れる必要があるようである。

市民公開講座の内容と興味・関心を持った項目

・全体的な評価としては“分かり易かった”が8割を超えており、逆に“分かり難い”は具体的なイメージメイキングが出来ない演題。

日常的に馴染めないのは次の3項目。「リハビリの立場からの胃ろう」、「栄養剤に関する説明」、「訪問看護ステーション(在宅)について」

・興味、関心を持った項目では、「摂食・嚥下障害の看護について(27名)」、「胃ろう造設を必要とする疾病(8名)」が表裏の関係かつ参加者条件から多かった。

“胃ろう”についての理解と市民公開講座の評価

・理解、関心を深めて頂け他(42名)ようである。また、市民公開講座として一般市民の評価は専門過ぎないか！も概ね“分かり易かった”の評価であり、設問自体が杞憂に終わった。

「胃ろうネットワーク」第一回市民公開講座の整理まとめ

平成19年6月2日、「多摩市胃ろうネットワーク」、「多摩市医師会」による「胃ろうってなに？」の市民公開講座をはじめ開催

関係者を含めると100名を超える参加(実質参加者は92名)

当日、来場者にアンケートを実施。48名の回答を得た。以下、アンケート結果の整理まとめたものである。

対象者のプロフィール(N=48)

- ・性別 …… 男性 14名 女性 31名 不明 3名
- ・年齢 …… 10代 20代 30代 40代 50代 60代 それ以上 不明
1名 4名 7名 14名 7名 4名 9名 3名
- ・住所 …… 多摩市17名、八王子市9名、町田市4名、日野市3名
府中市2名 以下、稲城市・小平市・杉並区・大田区・
世田谷区が各1名、 不明8名
- ・職業 …… 看護師7名、介護支援専門員5名、ケアマネ3名、
以下、管理栄養士・薬剤師・主婦・会社員が各2名。
ホームヘルパー・社会福祉士・学生・地域支援センター・
MSWが各1名。 無職9名。 不明11名

<告知PRポスター>

2007年6月2日
講演会 定員200名 入場無料
どなたでも参加できます

「胃ろうってなに？」
もしお口から食べられなくなったらどうしますか？

第一回市民公開講座
多摩市胃ろうネットワーク

開演時間 15時～
講師 宮脇 誠 (医師)
佐藤 明美 (看護師)
訪問看護ステーション看護師
会場 グイータコミュニネ8階
多摩市間戸公民館グイータホール
電話042-374-9711
交通 京王線聖蹟桜ヶ丘
徒歩2分

主催 多摩市胃ろうネットワーク
共催 多摩市医師会
後援 PEGドクターズネットワーク
多摩市貴徳ネットワーク事務局
多摩南部地域病院看護協議会
大津 TEL 042-378-5111

市民公開講座の認知経路(複数回答)

・認知経路は「(参加協力頂いた病院」と答えたのが20名で最も多く、次いで「多摩市広報」が10名、以下、各種タウン誌紙8件などである。

・また、認知経路で「その他」をあげたのが17名。その内訳を列記すると右表の通りである。

・認知経路に関しては、マスを始めとした多様な媒体により露出機会を多くした故に、多岐に渡る接触となっている。

・他方で、「その他」に見られるような一種の“口コミ”的な(自主)研究会などでの紹介、話題にもなって参加したようでもある。

この種の市民公開講座への参加状況

・「今回はじめて」の参加が43名、過去に他の講座に「参加(2~3回)」は4件である。

・市民公開講座として“初めて参加”が大半を占めたことは、テーマへの関心の強さと市民公開の必要性といった両面で注目されることである。

問1:あなたは今回の市民公開講座をどこで知りましたか

1多摩市広報	10件	2保健所	1件	3多摩市医師会	2件
4病院	20件	5もしもし新聞	4件		
6ショッパー	2件	7多摩ニュータイムス	2件		
8ホームタウン	-	9PDN通信	-	0その他	17件

 訪問看護よりの案内、チラシ・ポスター、PDNのHP …各2

あいセーフティネットより、母親から(学生)、製薬会社MRより、やまびこ、郵送にやる案内、病院で知った(入院患者の家族)、職場のNST勉強会で、職場(福祉・町田)への案内、FAXが来た(地域包括センター)、院内回覧、パンフレット(栄養関係講習会)、病院勤務の友人より

 …各1

問2:はじめての“胃ろう”に関する市民講座ですが、この種の講座によく参加しますか。

1今回が初めて	2 2,3回	3 4,5回	4 それ以上
43件	4件	-	-

参加した理由

・参加理由は「仕事の関係」が20名(内訳は看護師が9名、介護関係9名、管理栄養士2名)で最も多く、次いで「個人的に関心を持ち」16名、「(患者の)身内や家族」が8名などが続いている。

・参加理由から見た参加者の状況は、直接的な仕事の関係者よりも第三者である「個人的」な層と患者の「身内や家族」の層の両者を合わせると前者、即ち仕事の関係者を上回る一般の市民参加である。

・市民公開講座とただけに、一般の市民の方々の参加が直接的な関係者を上回ったことは非常に評価できる。

・参加者の裾野は広く、テーマ自体が日常的な関心事として受け止められ参加した市民も多かったと思われる。

市民公開講座の内容

・詳細はプログラムを参照していただくことにし、右表の7項目に関して、分りやすかったか、分りにくかったかを確認した。

・いずれの項目も「分りやすかった」が大半を占めるが、「多摩市胃ろうネットワークの紹介」、「胃ろう造設を必要とする疾病」、「摂食・嚥下障害の看護について」及び「全体評価」は8割を超えたプラス評価である。

・「リハビリの立場からの胃ろう」ではリハビリが医療行為として受け止められないでいる意見もあるなどが「どちらとも言えない」が多くなったと思われる。

・「栄養剤に関する説明」も「どちらとも言えない」がまた多い評価となっているが、それだけ経腸栄養に関するイメージメーキングが出来ない故かと思われる。

・同じことが「訪問看護ステーション(在宅)について」も言えるのではないと思われる。

・講演内容で「どちらとも言えない」の比較的多い項目はそれだけ日常馴染まれない状況、今後の課題とも言えるのではないか。

問3:今回、あなたが参加して理由は次のどれですか。

1	個人的に関心を持つ	16件
2	患者本人	—
3	身内・家族に(患者が)いる	8件
4	仕事の関係	20件
	5 医師	-
6	看護師	9件
7	管理栄養士	2件
8	介護関係	9件
	9 その他(薬剤師、MSW)	2件
0	不明	2件

問4:市民公開講座の内容7項目に関しての分りやすさ。

	分りやすかった	どちらとも言えない
多摩市胃ろうネットワークの紹介	42件	5件 (1)
リハビリの立場からの胃ろう	38件	10件
胃ろう造設を必要とする疾病	41件	7件
栄養剤に関する説明	33件	15件
摂食・嚥下障害の看護について	39件	8件 (1)
訪問看護ステーション(在宅)について	36件	10件 (2)
～ 間での全体評価	40件	7件 (1)

()内数値は「分りにくかった」と評価した件数

興味、関心を持った項目

・興味、関心を持った項目を挙げてもらったところ、「摂食・嚥下障害の看護」が27名で最も多く、次いで「胃ろう造設を必要とする疾病」が18名である。

以下、「リハビリの立場からの胃ろう」、「訪問看護ステーション(在宅)」が各12名、「栄養剤に関する説明」9名などとなっている。

・なお、興味、関心の項目選択と同時に、要望・意見を少数であるがようせられており、その内容を紹介すると以下の通りである。

*多摩市胃ろうネットワークの紹介に関して、「もっと早く実施してもらいたかった。多摩市に5つの病院がありながら私の妻は八王子の病院に入院させられた(多摩市貝塚在住者)

*すべて分りやすかったのですが、特に宮脇先生のお話は大変勉強になりました(MSW)

*摂食・嚥下障害の看護について、詳しい説明の機会をもっと頂けたらありがたい(胃ろうという病気が良く分らなかったから個人的に関心を持ち参加)

問5:興味、関心を持った内容項目

	興味、関心(分りやすかった)
多摩市胃ろうネットワークの紹介	5件 (43件)
リハビリの立場からの胃ろう	12件 (37件)
胃ろう造設を必要とする疾病	18件 (40件)
栄養剤に関する説明	9件 (31件)
摂食・嚥下障害の看護について	27件 (37件)
訪問看護ステーション(在宅)について	12件 (32件)
～ 間での全体評価	33件

“胃ろう”について関心を深めたか

・関心を深めていただけたが42件であり、「どちらとも言えない」は5件である。

市民公開講座としての分りやすさ

・“胃ろう”にまつわる様々なことから、それぞれの専門のたちばかり話していただいたが、多くの方が内容に関して無理なく受け止めてもれえたようである。

・専門的すぎたは2名に留まった。

問6: 今回の市民講座で“胃ろう”について、より関心を深めていただけでしょうか

はい	42件
どちらとも言えない	5件
不明	1件

問7: 市民公開講座として内容的に専門すぎたでしょうか

いいえ	35件
どちらとも言えない	8件
専門的すぎた	2件

添付資料:第一回市民公開会議「胃ろうってなーに？」実施要領

第一回 多摩市胃瘻ネットワーク 市民公開講座のご案内

主催：多摩市胃瘻ネットワーク
多摩市医師会
共催：多摩南部地域病院
後援：NPO法人 PEG ドクターズネットワーク (PDN)

第1回 多摩市胃瘻ネットワーク 市民公開講座を開催致します。
在宅関係者の皆様・胃ろうの管理に関わっていらっしゃる施設の関係者の皆様・患者様ご家族などごな
たでも、ご参加いただけます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。
*当日講師への質問も受け付けます。
*受付時にアンケートを配布しますので記載の上、退場時に受付にお出しください。
また、胃ろう器材の展示・栄養剤の展示・試飲サンプル提供など用意しております。手にとって、直
接担当者さんから説明を受けられます。

日時：平成19年6月2日(土) 15:00~17:00
会場：多摩市立開戸公民館 ヴィータホール
東京都多摩市開戸4丁目7番地 042-374-9711
参加費：無料
対象：在宅関係者の皆様・胃ろうの管理に関わっていらっしゃる施設の関係者の皆様・患者
様ご家族などごなごでも、ご参加いただけます(250名まで)。当日会場に直接お越
しください。

プログラム

14:30 開場
受付開始 展示物をご覧ください
*御氏名などの記載をお願い致します。
*アンケート用紙と講演会資料をお受け取りください。
(各展示業者さんの資料は展示場所で貰ってください。)

15:00 開会の挨拶
多摩市胃瘻ネットワークの紹介(各病院の相談窓口の紹介など)
多摩市胃瘻ネットワーク代表
多摩南部地域病院 副院長 小池 順平

15:15 講演会 メインテーマ「胃ろうってなーに？」
座長 新天本病院 リハビリテーション科専門医 高田 耕太郎

第一部 演題：「胃ろうとは？」
胃ろうの造設が必要となる疾患の説明から造設までを判りやすく御話いただきます。
栄養剤についても簡単にご説明いただきます。(展示内容の紹介)
講師：聖マリアンナ医科大学東横病院 消化器・肝臓内科、厚生荘病院
PDN 理事 宮脇 誠

質疑応答

16:15

10分休憩

16:30

第二部 演題：「胃ろうのケア」

①「摂食・嚥下障害看護認定看護師の立場から」講師：日本医科大学多摩永山病院 佐藤 明美 (20分)
②「訪問看護ステーションでできること」講 師：あい訪問看護ステーション看護師 (20分)
質疑応答

17:30 閉会挨拶 多摩市胃瘻ネットワーク代表 小池 順平
閉会

会場入口の廊下に栄養剤と胃瘻キットを展示しています。ご自由にご覧下さい。

- * PDN のテキストを販売致します。
- * 胃瘻カテーテルの製品展示 株式会社メディコン
- * 栄養剤の展示・試飲コーナーを設けます。
- * 展示業者 味の素ファルマ株式会社 アボットジャパン株式会社
テルモ株式会社 大塚製薬工場

尚、本セミナーに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。
多摩市胃瘻ネットワーク事務局
多摩南部地域病院 看護相談係 大津係長
TEL: 042-338-5111 FAX: 042-339-6112